

くるめの文化財

平成17年3月

第20号

東久留米市教育委員会

明治時代各村地引絵図

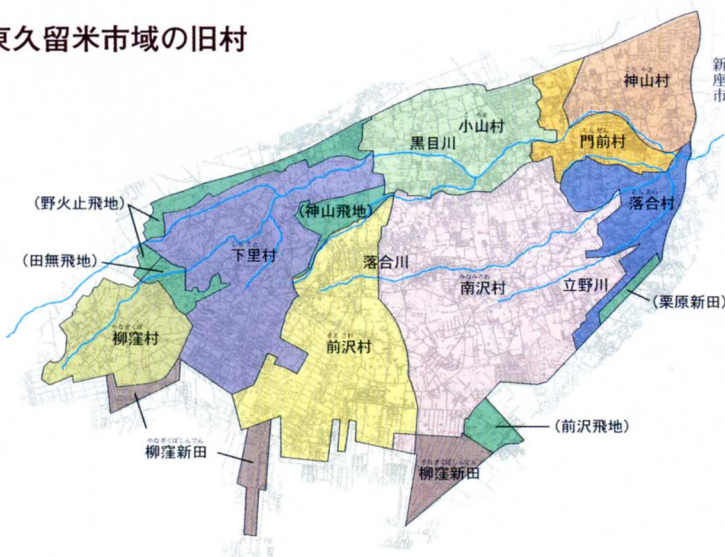
「明治時代各村地引絵図」は、現在の東久留米市を構成する旧村の初めての近代測量図で、九つの村（柳窪新田を含む）のすべてが現存する大変貴重な歴史資料です。

「地引絵図」は、明治6年（1873）の地租改正令によって作成されたもので、「地租改正図」ともよばれています。明治維新をむかえて、わが国が近代国家として出発するにあたり、税の対象とした土地の最も基本的な地図となったものです。全国的に作成され、各県の指導のもとに旧来の村単位で実施されました。当時、東久留米市域の村々は神奈川県に属しており、明治7年に神奈川県庁から布達された「地引絵図規則」に基づいて作成されました。

「地引絵図」は、字ごとの切図と、それを1枚にまとめた全図からなっています。東久留米市域の村々の「地引絵図」には、全国が9枚と切図が76枚あります。切図の一部が欠損している村もありますが、逆に訂正等に使用されたと思われる部分図もあります。

初めての近代測量の概念が導入されたので、絵図はそれまでの村絵図とは違い、平面的で記号的となりました。しかし、宅地や社地には具象的な家形や社の形が表現されているように、江戸時代の村絵図の特色も残しています。江戸と明治をつなぐ地図ともいえるでしょう。地図の縮尺は明記されていませんが約600分の1で表現されています。そして、図の一筆ごとに地番が記入されていて、現在の地籍のもととなっています。

東久留米市域の旧村



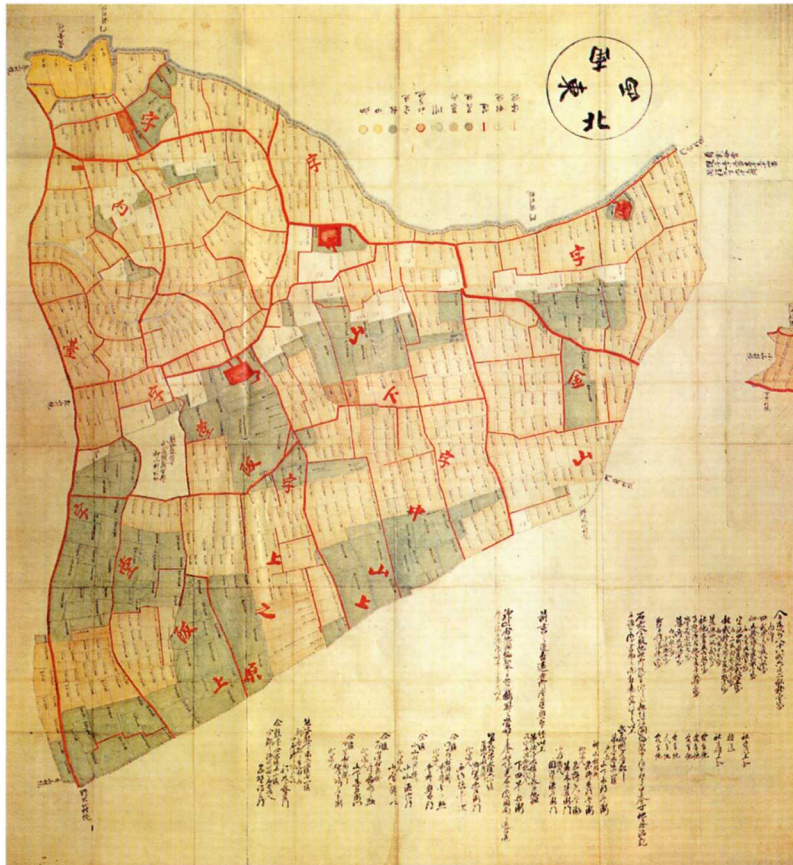
神山村全図表紙

「地引絵図」は地目別に色分けされています。畑（茶）、田（黄）、林（緑）、宅地（白に屋根形）、寺社地（赤）、川（青）、道路（赤）などで、絵図にはその凡例が付いています。また、図の余白には絵図編成の村責任者の連名（印）、隣接村の立会人連名（印）、地目地積（合反別）、作製年月、方位などが記載されていますが、なかには凡例や作製年月、地目地積などがぬけているものもあります。全図は何枚もの和紙を張り合わせて作られており、最大で430×360cmほどの大きさがあります。全図のほとんどは厚紙の表紙が付けられ、40×30cmほどに折りたたまれています。

「地引絵図」は昭和47年に市役所の倉庫からまとまって発見されたもので、歴史的な価値が非常に高いことから、昭和63年に東久留米市の指定有形文化財となりました。また、本来はこの地図に付随して土地台帳が作られたものと思われませんが、残念ながら土地台帳は確認されていません。今後の発見とさらなる研究に期待したいと思います。

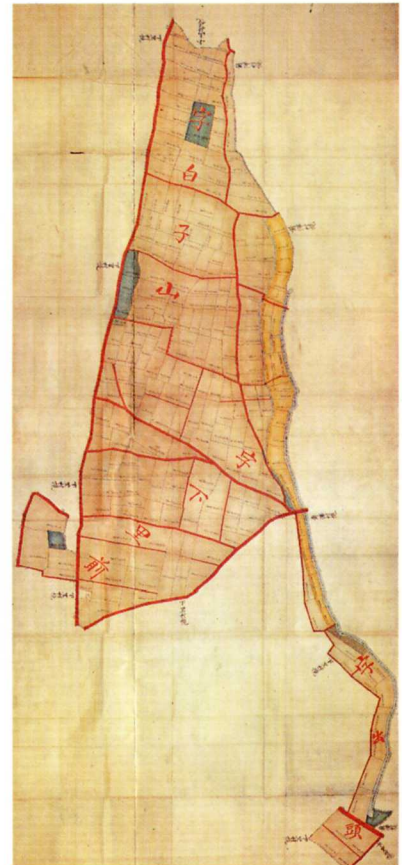
これらの「地引絵図」は東久留米市史編纂委員会の編集（解説：犬井 正）によって昭和51年に復刻され、『明治時代各村地引絵図』（1）神山村・門前村、（2）小山村・南沢村、（3）下里村・前沢村・柳窪村・柳窪新田、として東久留米市教育委員会から出版されています。

参考資料：上記復刻版の解説（犬井正著）、『神奈川県明治期地籍図』（佐藤甚次郎著）暁印書館 1993

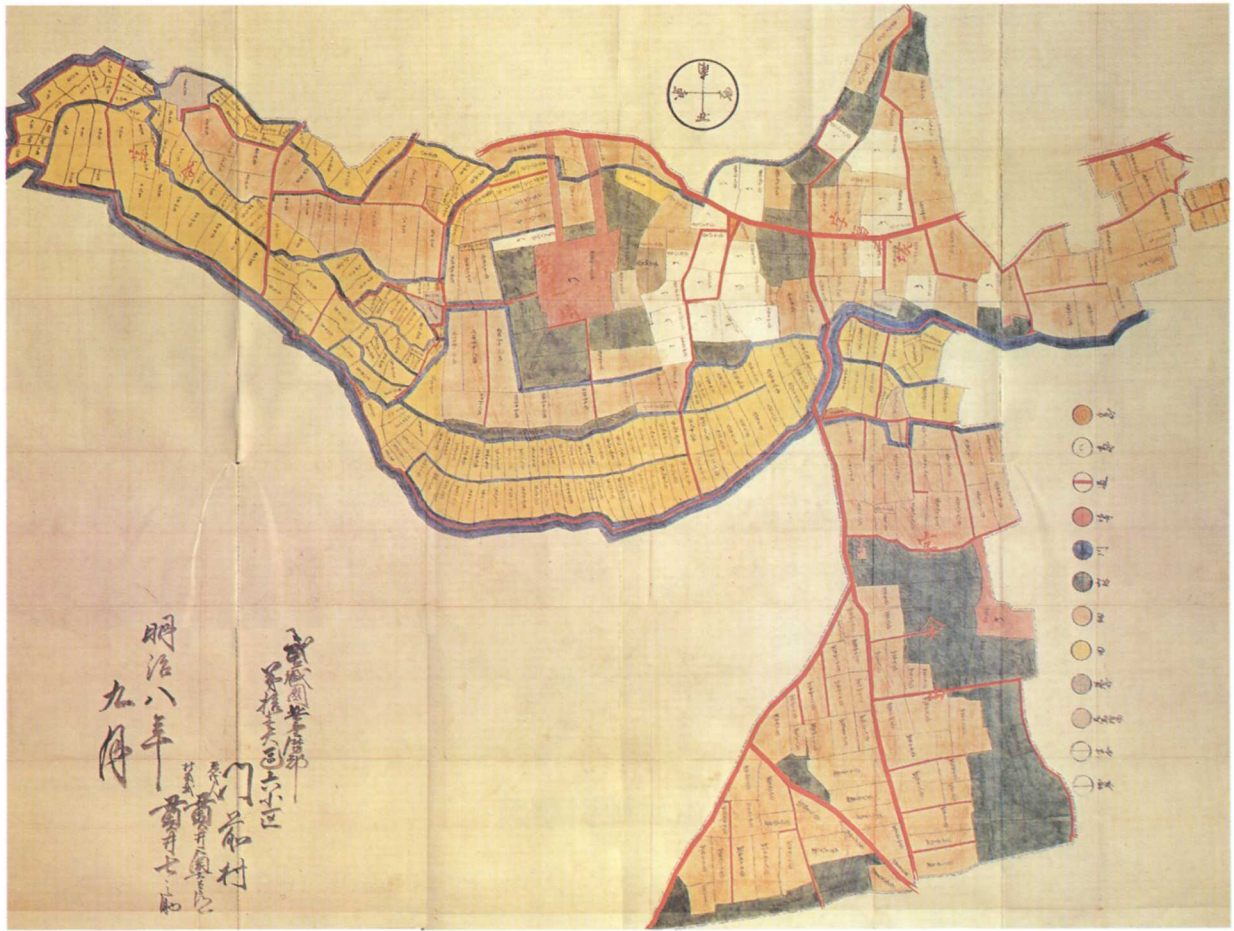


原寸 407cm×233cm

神山村地引絵図

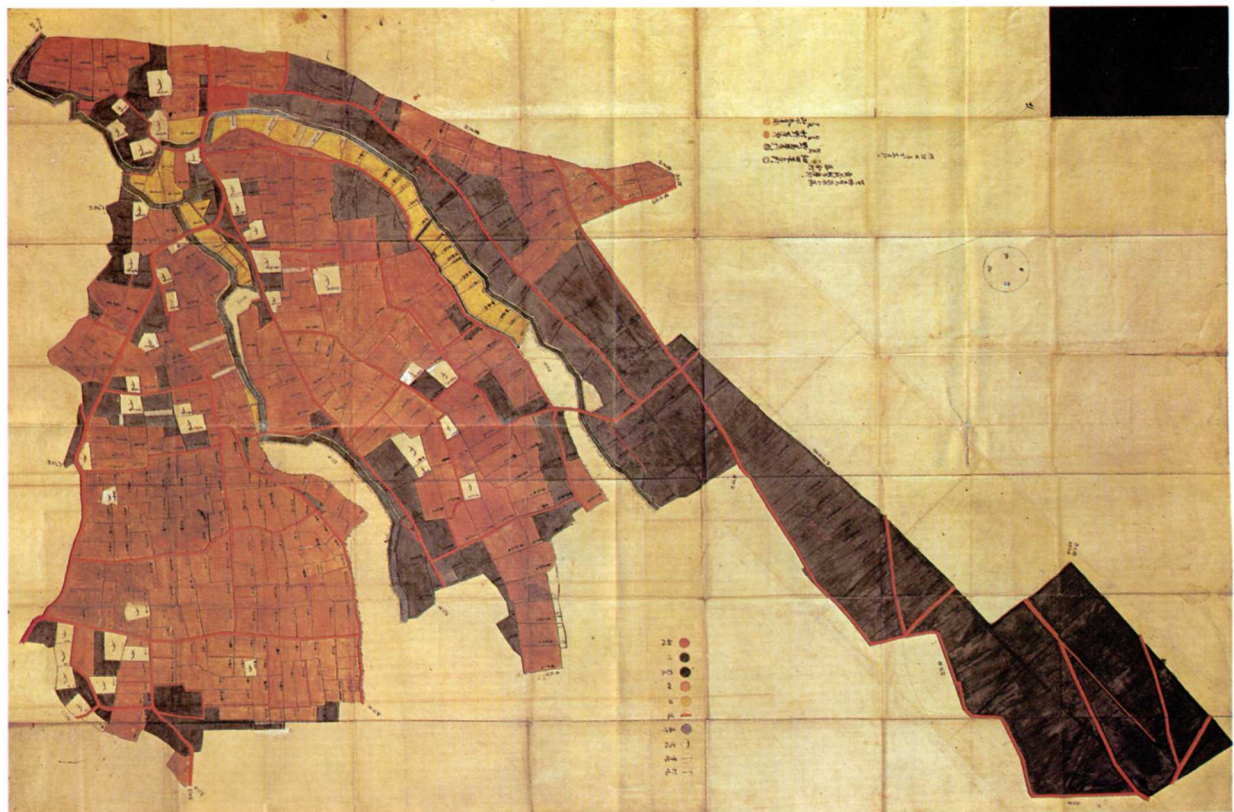


神山村飛地



原寸223cm×160cm

門前村地引絵図



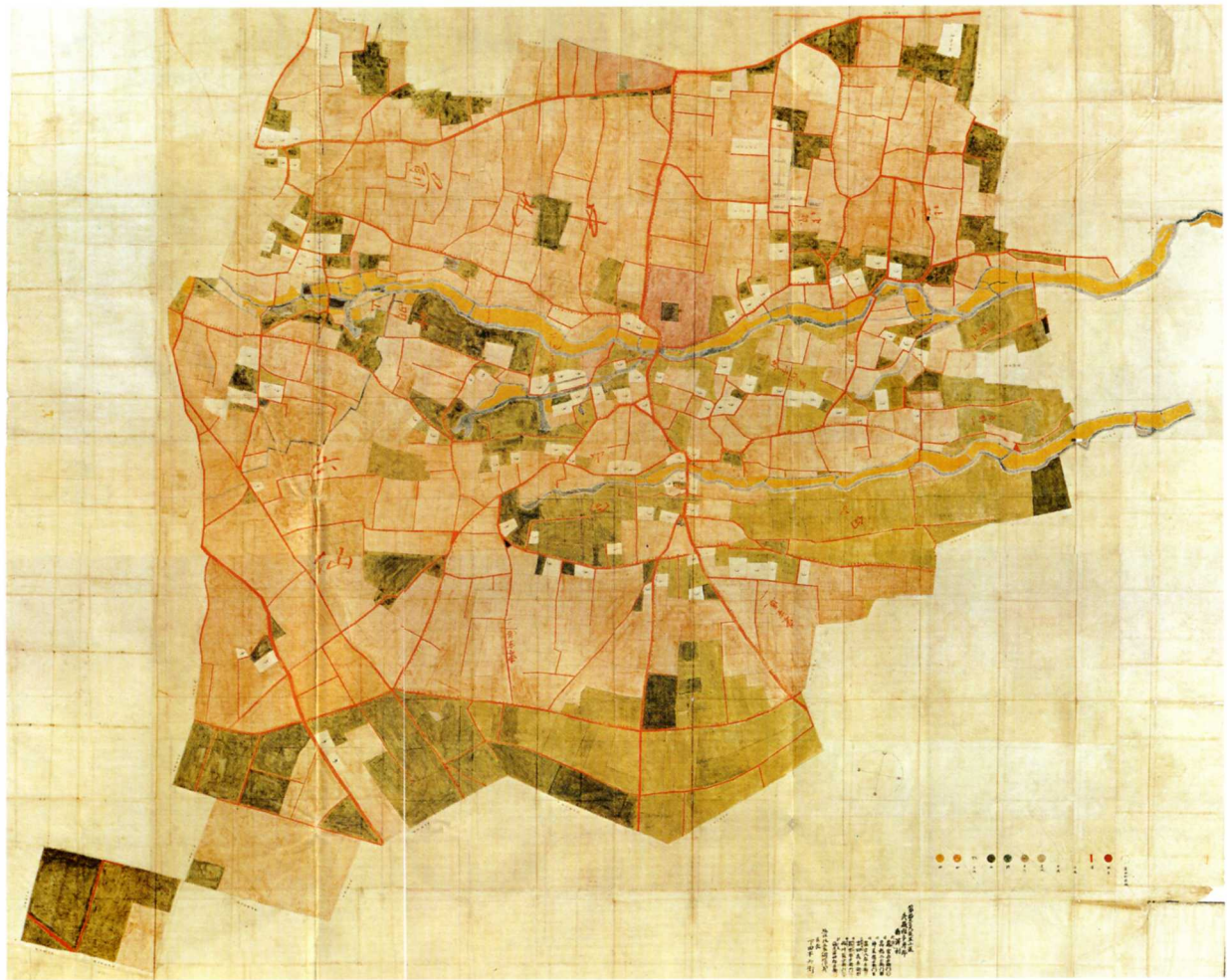
原寸273cm×188cm

落合村地引絵図



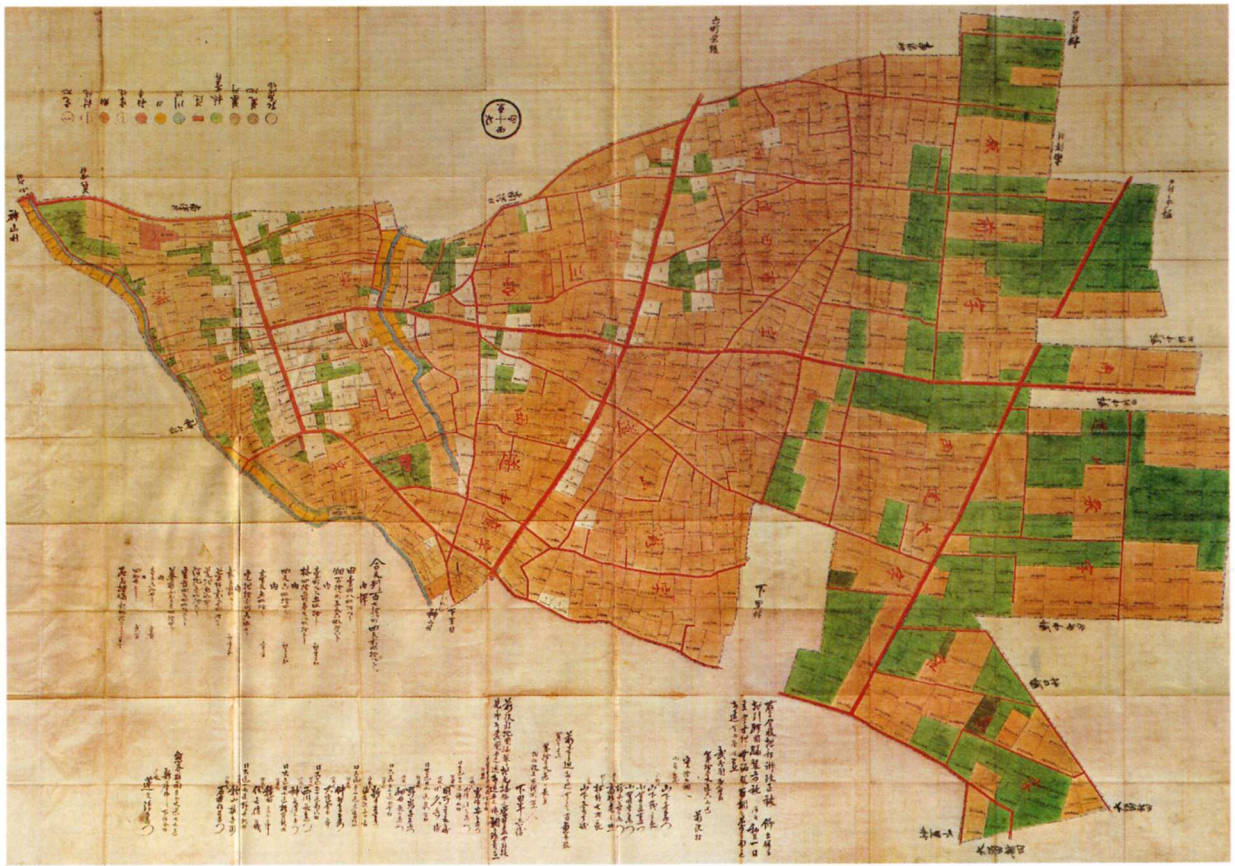
原寸312cm×191cm

小山村地引絵図



原寸430cm×360cm

南沢村地引絵図



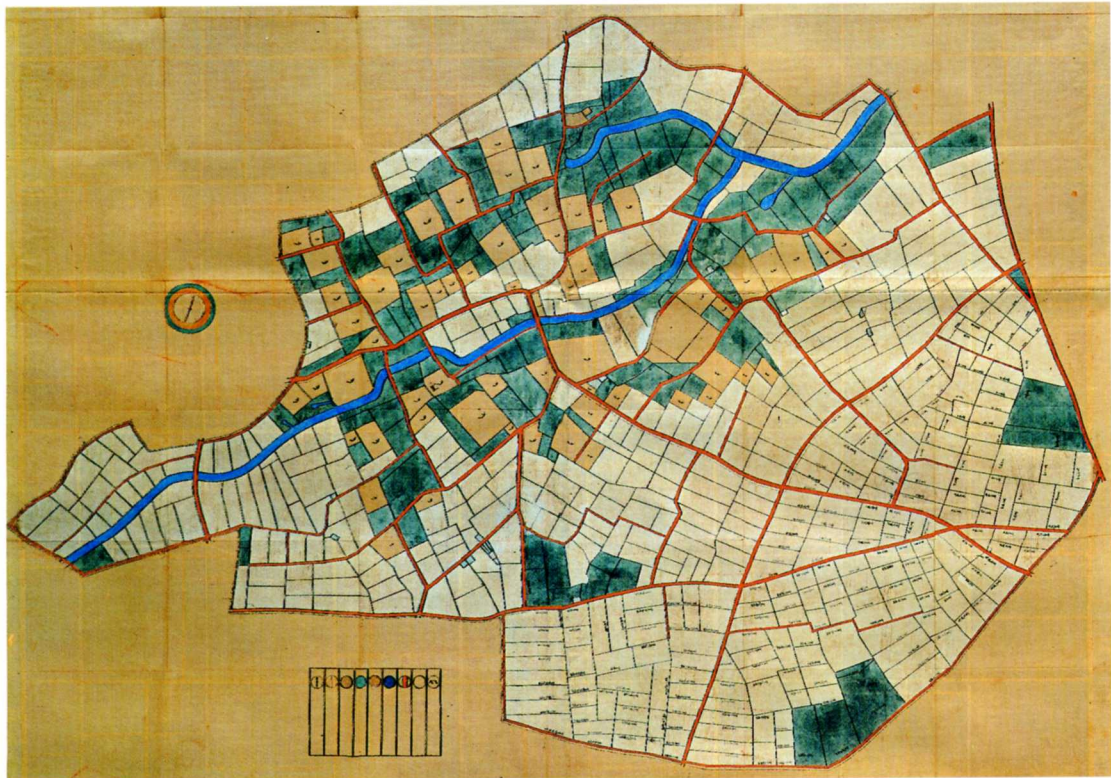
原寸 372cm×270cm

前沢村地引絵図



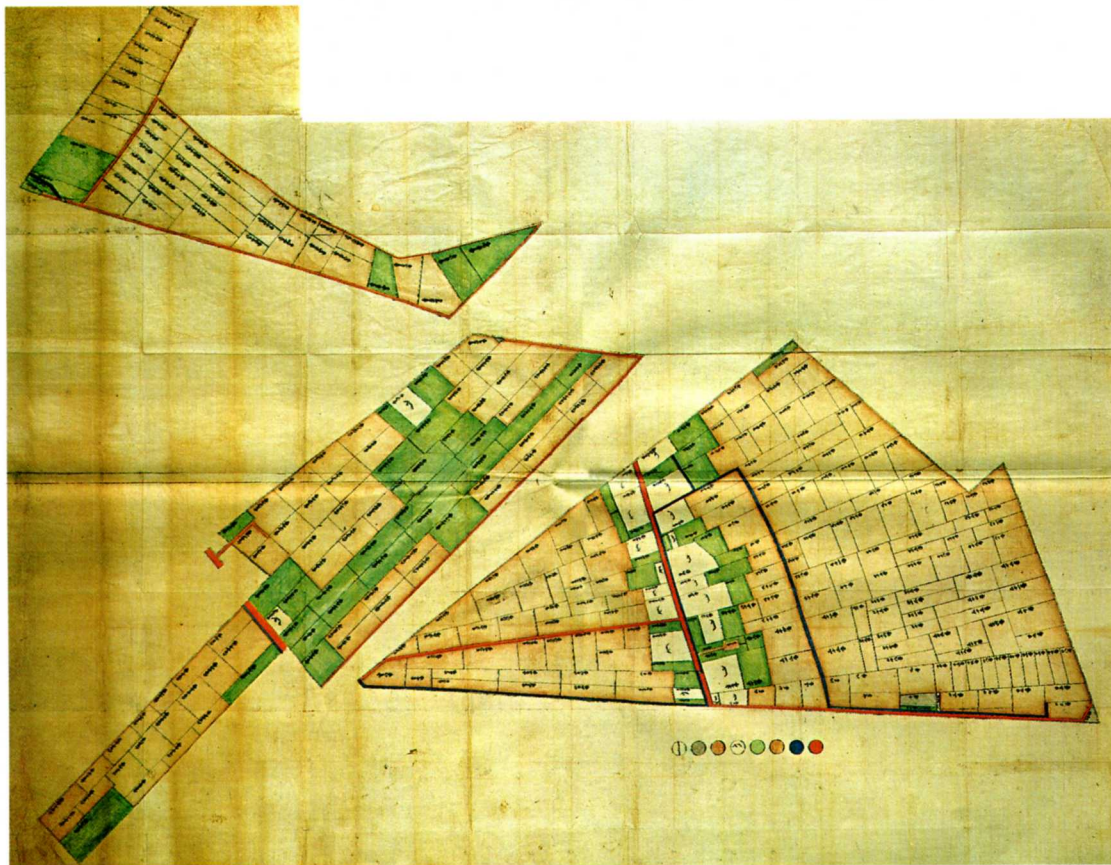
原寸 394cm×294cm

下里村地引絵図



柳窪村

原寸 232cm×204cm



柳窪新田

原寸 258cm×205cm

柳窪村・柳窪新田地引絵図

[編集・発行] 東久留米市教育委員会生涯学習課

〒203-8555 東京都東久留米市本町 3-3-1 電話 0424-70-7777 (内線 3213)